

☆日本人が間違いやすい英語-2

Aさんが学校に来ると、明るい笑顔の友人が今日は妙に落ち込んでいる様子。心配なので、

“What’s your problem?” と、声をかけた。すると、なぜか友人はそれで余計に、ショックを受けた感じでAさんを見つめている。なぜ?

“What’s your problem?”

実は “What’s your problem?” は

= 「何か文句でもあるの？」

= 「何か言いたいことがあるの？」

と、ややけんか腰のイメージを与える表現だからです。



What’s wrong with you?も同様。ただし、with you を省くと、

What’s wrong? = 「どうしたの?」・「何か困っているの?」と

困っている相手を思う気持ちが伝わります。

・you や your を入れると、あなたのどこかがおかしい という前提になるのです。

◎ 相手の人が心配で「どうしたの?」と聞くのなら、以下のような表現もあります。

① Are you all right? 「だいじょうぶ?」

② What’s up? 「なにかあったの?」

③ Is there anything you’d like to talk about?

「何か話したいことはある?」

♪ ③はちょっと長いですが、覚えて使うと、きっとやさしい人だなあと考えられますよ。

